

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 10 月 11 日 (2012.10.11)

【公開番号】特開 2011-55242 (P2011-55242A)

【公開日】平成 23 年 3 月 17 日 (2011.3.17)

【年通号数】公開・登録公報 2011-011

【出願番号】特願 2009-202101 (P2009-202101)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/00 C

G 0 6 F 3/12 K

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 8 月 28 日 (2012.8.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 の記憶手段を備える制御ユニットと、

第 2 の記憶手段を備える通信ユニットと、

を備える画像通信装置であって、

前記画像通信装置は、

前記制御ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 1 のモードと、前記通信ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 2 のモードとを備え、

前記通信ユニットは、

通信ごとの通信履歴情報を生成する生成手段と、

前記第 2 のモードにおいて、前記通信ユニットにおいて固有の識別情報を前記通信履歴情報に付与する付与手段と、

前記第 2 のモードにおいて、前記第 2 の記憶手段に前記識別情報が付与された通信履歴情報を格納する手段とを備え、

前記制御ユニットは、

前記第 2 のモードから前記第 1 のモードへ移行する場合に、前記第 2 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得された前記通信履歴情報に付与された識別情報を、前記制御ユニットにおいて固有の識別情報となるように変更する変更手段と、

前記変更された識別情報が付与された前記通信履歴情報を前記第 1 の記憶手段に格納する手段と

を備えることを特徴とする画像通信装置。

【請求項 2】

第 1 の記憶手段を備える制御ユニットと、

第 2 の記憶手段を備える通信ユニットと、

を備える画像通信装置であって、

前記画像通信装置は、

前記制御ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 1 のモードと、前記通信

ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 2 のモードとを備え、

前記通信ユニットは、

通信ごとの通信履歴情報を生成する生成手段と、

前記第 2 のモードにおいて、前記制御ユニットから通知された識別情報に基づいて、識別情報を前記通信履歴情報に付与する付与手段と、

前記第 2 のモードにおいて、前記識別情報が付与された通信履歴情報を前記第 2 の記憶手段に格納する手段とを備え、

前記制御ユニットは、

前記第 1 のモードから前記第 2 のモードへ移行する場合に、前記第 1 のモードにおいて前記第 1 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報に付与された、前記制御ユニットにおいて固有の識別情報のうち、最新の識別情報を前記通信ユニットに通知する通知手段と、

前記第 2 のモードから前記第 1 のモードへ移行する場合に、前記第 2 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した前記通信履歴情報を、前記第 1 の記憶手段に格納する手段とを備えることを特徴とする画像通信装置。

【請求項 3】

前記第 1 のモードにおいて前記制御ユニット及び前記通信ユニットへの電力供給を行い、前記第 2 のモードにおいて前記制御ユニットへの電力供給を行わず、前記通信ユニットへの電力供給を行う電力供給手段を更に備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像通信装置。

【請求項 4】

前記付与手段は、所定の規則に従って前記識別情報を発行することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 5】

前記制御ユニットは、所定の規則に従って前記識別情報を発行する識別情報発行手段を有することを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 6】

前記識別情報は、通し番号であることを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 7】

前記第 2 のモードにおいて、前記通信ユニットの制御により外部装置との間で通信が行われたことを示す情報をユーザに通知する手段をさらに備えることを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の画像通信装置。

【請求項 8】

第 1 の記憶手段を備える制御ユニットと、

第 2 の記憶手段を備える通信ユニットと、

を備える画像通信装置の制御方法であって、

前記画像通信装置が、

前記制御ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 1 のモードと、前記通信ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 2 のモードで動作し、

前記通信ユニットが、

通信ごとの通信履歴情報を生成する生成工程と、

前記第 2 のモードにおいて、前記通信ユニットにおいて固有の識別情報を前記通信履歴情報に付与する付与工程と、

前記第 2 のモードにおいて、前記第 2 の記憶手段に前記識別情報が付与された通信履歴情報を格納する工程とを実行し、

前記制御ユニットが、

前記第 2 のモードから前記第 1 のモードへ移行する場合に、前記第 2 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報を取得する取得工程と、

前記取得工程で取得された前記通信履歴情報に付与された識別情報を、前記制御ユニッ

トにおいて固有の識別情報となるように変更する変更工程と、

前記変更された識別情報が付与された前記通信履歴情報を前記第 1 の記憶手段に格納する工程と

を実行することを特徴とする画像通信装置の制御方法。

【請求項 9】

第 1 の記憶手段を備える制御ユニットと、

第 2 の記憶手段を備える通信ユニットと、

を備える画像通信装置の制御方法であって、

前記画像通信装置が、

前記制御ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 1 のモードと、前記通信ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 2 のモードで動作し、

前記通信ユニットが、

通信ごとの通信履歴情報を生成する生成工程と、

前記第 2 のモードにおいて、前記制御ユニットから通知された識別情報に基づいて、識別情報を前記通信履歴情報に付与する付与工程と、

前記第 2 のモードにおいて、前記識別情報が付与された通信履歴情報を前記第 2 の記憶手段に格納する工程とを備え、

前記制御ユニットが、

前記第 1 のモードから前記第 2 のモードへ移行する場合に、前記第 1 のモードにおいて前記第 1 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報に付与された、前記制御ユニットにおいて固有の識別情報のうち、最新の識別情報を前記通信ユニットに通知する通知工程と、

前記第 2 のモードから前記第 1 のモードへ移行する場合に、前記第 2 の記憶手段に格納された前記通信履歴情報を取得する取得工程と、

前記取得工程で取得した前記通信履歴情報を、前記第 1 の記憶手段に格納する工程と

を実行することを特徴とする画像通信装置の制御方法。

【請求項 10】

請求項 8 または 9 に記載の画像通信装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、例えば、画像通信装置として実現できる。画像通信装置は、第 1 の記憶手段を備える制御ユニットと、第 2 の記憶手段を備える通信ユニットと、を備える画像通信装置であって、画像通信装置は、制御ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 1 のモードと、通信ユニットの制御により外部装置との間で通信を行う第 2 のモードとを備え、通信ユニットは、通信ごとの通信履歴情報を生成する生成手段と、第 2 のモードにおいて、通信ユニットにおいて固有の識別情報を通信履歴情報に付与する付与手段と、第 2 のモードにおいて、第 2 の記憶手段に識別情報が付与された通信履歴情報を格納する手段とを備え、制御ユニットは、第 2 のモードから第 1 のモードへ移行する場合に、第 2 の記憶手段に格納された通信履歴情報を取得する取得手段と、取得手段で取得された通信履歴情報に付与された識別情報を、制御ユニットにおいて固有の識別情報なるように変更する変更手段と、変更された識別情報が付与された通信履歴情報を第 1 の記憶手段に格納する手段とを備えることを特徴とする。